

## 会議録（案）

会議の名称	男女平等推進センター企画運営委員会 令和5年度第3回（R4.6.7～R6.6.6）
開催日時	令和5年7月12日（水曜日） 午後7時00分から午後8時30分まで
開催場所	オンライン開催
出席者	委員：青木委員、大森委員、寺澤委員、秦委員、佐藤委員（書面参加） 事務局：徳丸係長、藤野主査
議題	1 企画事業について 2 情報誌について 3 令和5年度第2回企画運営委員会会議録（案）の承認 4 その他（企画運営委員改選ほか）
会議資料	1 令和5年度男女平等推進センター企画講座 提案（7月6日更新） 2 令和5年度男女平等推進センター企画運営委員会事業年間計画書（7月6日更新） 3 令和5年度第2回会議録（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○会議内容 《開会》 事務局：第3回男女平等推進センター企画運営委員会を開催する。 本日の委員会の人数の確認と会の成立について、8名中5名出席で委員会は成立とする。</p> <p>1 企画事業について 委員長：企画事業について事務局より説明を。 事務局：6月3日土曜日10時から12時「政治を舞台に北欧の女たちは社会を変えた」講座を住吉会館で実施した。33名にご参加いただき、大変好評であった。ご提案いただいた委員より、報告をお願いしたい。 委員：当日は、講師が集めたポスターの展示も行った。北欧、特にノルウェーの制度についてお話しいただいた。ノルウェーでは女性が働きやすく、自立して生きていくために必要な制度が整っていると感じた。その制度を確立してきた背景には、女性議員の数が多く、生活に視点を向けた政策となっているとのことであった。 事務局：6月23日からユーチューブで配信を開始している、男女共同参画週間の講演会「あらゆる人に「子を持つ」をあきらめさせないフランスの「直球支援型」少子化対策」については、限定公開から申込み不要の公開に変更し、期間も7月31日までに延長している。まだ、視聴されていない方は、ぜひご覧いただきたい。配信中ではあるが、委員長が講演会の司会進行をしてくださっているので、感想をお願いしたい。 委員長：フランスは、子育てがしやすい環境を整えるために、工夫されてきたんだと知った。西東京市でも、取り入れて欲しい制度も多数あると感じた。フランスからレポートしてくださった祐天寺さんは、すごくフランクで話しやすく進行がスムーズに行えた。 事務局：7月4日火曜日10時から12時「親も子も自己肯定感を育てていこう～子どもの生ま</p>	

れや育ちを大切に～」講座を住吉会館で実施した。22名にご参加いただき、大変好評であった。ご提案いただいた委員に、次回報告をお願いする。

今年度を実施する予定の講座について、ご相談したい。

11月の女性に対する暴力をなくす運動期間講演会と3講座を年度内に開催する予定である。次回の委員会で、ご提案とご意見を伺いたい。

委員：了承する。

事務局：9月10日曜日午前10時から12時「災害時、あなたはほんとうに避難できる？」講座の開催が決まった。

委員長：講座の企画について、新しい提案がある方はいるか。

委員：食育の講座を考えている。アスリートに指導している方に依頼したいと考えている。アスリート指導以外でも、子どもから大人まで幅広く対応してくださる。男女平等参画を考えると、どのような視点で講師に相談したらよいかお聞きしたい。

事務局：食育というと、母親向け講座と考えがちであるが、父親にも聞いてもらえる内容にしたい。

委員：了承する。

委員：ハーバリウム講座を今年度中に開催できるか。

事務局：手仕事系の講座が開催できていないので、検討したい。

委員：了承する。

委員長：「子どもの強みを見つける」をテーマにした講座を考えている。講師に、相談をしていく。子育てへの支援に関する講座が続くが、開催は可能であるか。

事務局：開催時期を調整すれば、可能だと思う。子育て中の人が大いに興味があるテーマだと思う。講師へのご相談をお願いしたい。

委員長：了承する。

事務局：女性に対する暴力をなくす運動期間の講演会について、次回の委員会でご提案をいただきたい。事務局では、産婦人科医の高橋幸子医師を検討している。

委員長：各自、講師案を考えておく。

委員：了承する。

## 2 情報誌パリティについて

委員長：今年度の情報誌の説明を。

事務局：プロポーザル競技の結果、株式会社ドウ・アーバン様に引続き編集構成業務を実施していただくことになった。

31号からの変更点は、A4サイズからA5サイズ、4色印刷となる。

サイズ変更等に伴い、これから先の誌面の構成について、委員の意向をお聞きしたい。

委員長：各委員の意向をまとめると、30号までは偶数回と奇数回で誌面内容が固定されていた。31号からは、特集記事に合わせて柔軟に誌面内容を決めていく。

事務局：編集後記について、最終ページの1番下の欄に掲載してきたが、A5サイズへの変更に伴い、字数が現在の3分の1ほどに縮小してしまう。継続していくか委員の意向をお聞きしたい。

委員長：各委員の意向をまとめてお答えする。

最終ページの定位置での掲載から、中ページに企画運営委員のコーナーを作り掲載していく。

事務局：委員名の記載を続けるか。

委員長：公募で選ばれた委員との認識から、記載を続けていく。

事務局：パリティライブラリーは、30号までは毎号3冊の本を委員に選んでいただき、紹介文を書いていただいていた。このスタイルを続けるか。

委員長：今までのように決まったスタイルではなく、今号は関連図書の紹介。次号は、委員の選んだ本の紹介とフリーに取り組んでいく。

## 3 令和5年度第2回企画運営委員会会議録（案）の承認

委員長：修正箇所はあるか。

修正なしのため、令和5年度第2回企画運営委員会議事録を承認する。

4 その他（次回開催日程ほか）

委員長：少し時間があるので、フリートークの時間をとる。

事務局：次回の開催日程について、8月23日（水）の19時00分よりオンラインにて開催する。

委員長：では、本日は終了とする。ありがとうございました。

《閉会》